

ソフトボール競技要綱

【日時】

2025 年 11 月 15 日（土）
11 月 16 日（日）

雨天時について

当日もしくは前日が雨天であった場合は試合を中止することがある。中止の場合は当日の朝、または天候が悪化し次第、参加者へ連絡を行う。

【会場】

野球場、多目的グラウンド

【部門】

男子部門

〈出場規準〉

・特になし。

〈登録制限〉

- ・硬式野球部の部員は 1 チーム 1 人、準硬式野球部、男子ソフトボール部、女子ソフトボール部、医学準硬式野球部の部員は 1 チーム 2 人まで登録可。
- ・女子の登録可。但し、ハンディキャップはなし。

混合部門

〈出場規準〉

・特になし。

〈登録制限〉

- ・硬式野球部の部員は 1 チーム 1 人、準硬式野球部、男子ソフトボール部、女子ソフトボール部、医学準硬式野球部の部員は 1 チーム 2 人まで登録可。
- ・女子を 3 人以上登録しなければならない。

※いずれかの部門で登録チームが極端に少ない場合は部門を統廃合することがある。

※同一種目内で 1 人が複数のチームに所属することは禁止。

※応募チーム数が多い場合は抽選を行う。落選の場合のみ代表者へメールにて連絡を行う。

【試合形式】

以下のいずれかの形式で行う。

トーナメント形式

- ・準決勝と決勝を除く全ての試合は試合規定回数を 4 イニング、試合規定時間を 30 分とする。
※参加チーム数によって試合時間は変更する場合がある。
- ・準決勝と決勝の試合規定時間は 45 分とする。
- ・試合規定回数に達しないうちに試合規定時間の 30 分を過ぎられる場合は審判の判断により、新しいイニングには入らないものとする。勝敗は試合終了時点での得点で決める。
- ・同点の場合はタイブレークで勝敗を決める。タイブレークで 2 イニング行っても同点の場合は、代表者によるジャンケンで勝敗を決定する。
※タイブレーク：イニングの最初から 2 アウト満塁で始めること。
- ・準決勝以降を除き、3 イニングで 10 点差、4 イニング以降で 7 点差がついた場合はコールドゲームとする。

リーグ形式

- ・試合規定回数を 7 イニングとし、試合規定時間を 45 分とする。
- ・試合規定回数に達しないうちに試合規定時間の 45 分を過ぎられる場合は審判の判断により、新しいイニングには入らないものとする。勝敗は試合終了時点での得点で決める。
- ・3 イニングで 15 点差、4 イニング以降で 10 点差がついた場合はコールドゲームとする。
- ・勝利チームに 3 点、同点の場合は両チームに 1 点の勝ち点を与え、勝ち点の多い順に順位を決める。勝ち点が同じ場合は当該チーム間の勝敗、得失点差、総得点の順で順位を決める。それでも決まらない場合は代表者によるジャンケンで順位を決める。

【ルール】

- ・原則として、日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールに準ずる。
- ・試合規定人数は 1 チーム 9 人。（交代要員は 9 人まで登録可。）

第 49 代スポーツ・デー学生委員会

- ・試合開始時に試合規定人数に満たない場合、ペナルティを課す。
- ・試合開始最低人数は 1 チーム 7 人。
- ・交代は自由だが、打順の変更はできない。一度ベンチに下がった選手は打順が一巡するまで出場できない。

投手

- ・投手は原則スローピッチルールに従うこととする。
※スローピッチルール：投球は「地面から 1.5m 以上 3m 以下の空間」にアーチを描くようにすること。そうでない場合は不正投球としてボールとする。
- ・投球距離は 12m とする。

打者

- ・バント、振り逃げはなし。バントを行った場合はストライクとする。
- ・フォアボール、デッドボールはバッターに 1 つの安全進塁権を与える。
- ・混合部門の女子を除き、2 ストライク後のファールはアウトとしてカウントする。

走者

- ・盗塁は禁止。
- ・タッチアップルールを適用。
※タッチアップ…ノーアウトかワンアウトの場合、打者がフライまたはライナーを打ち、野手がノーバウンドで捕球した際、走者は一度帰塁した後に、次の塁に進むことができる。
- ・捕手後逸、投手の暴投による進塁は禁止とする。
- ・打者がボールを打つまでベースを離れることは禁止とする。
- ・一塁等への悪送球による進塁はワンベースまでとする。（各会場にワンベースラインを引き、それを越えた場合はワンベースとし、それ以外はボールインプレーとする。）
- ・スライディングは禁止とする。

守備

- ・球場の広さは無制限。（ワンベースラインは例外とする。）
- ・インフィールドフライのルールは適用する。
※インフィールドフライ…ノーアウトかワンアウトで、ランナーが 1、2 塁か満塁の時、打者が打ち上げたフェアの飛球であって、審判が「内野手が普通の守備行為

を行えば捕球できる」と判断した場合、内野手が捕球できていなくても打者がアウトとなる。

- ・捕手はキャッチャーマスクをつける。（キャッチャーマスクは貸出あり。）

《混合部門における特別ルール》

- ・女子 3 人以上が常に試合に出場していなければならない。
- ・混合部門において、男子の人数は試合開始時より増やすことはできない。
- ・試合開始時における出場選手のうち、女子の人数が多いチームに（女子の人数差）×1 点を与える。（上限は 5 点とする。ただしペナルティは含まない。）
- ・女子が打席に入ったとき、次のようにする。
本塁、一塁間の距離は 15m とする。（その地点に女子用ベースを置く。）
女子用ベースでセーフとなった場合は試合の止まった時点で本来の一塁に移動する。
直接二塁を狙う場合は女子用ベースから最短距離で進むことができる。
打者走者のアウト判定は女子用ベースで、他の走者のアウト判定は本来のベースで行う。
- ・男子が 4 人連続で並ぶ打順になってはいけない。
- ・男子が打った打球を外野で女子がキャッチする場合はワンバウンドで捕ってもアウトとする。但し、打球の落下地点がファールゾーンだった場合は女子がワンバウンドで捕球したとしてもこのルールは適用せずファウルボールとする。
※ワンバウンドした時点で打者以外の走者にとってはヒット扱いとなるので、走者に帰塁の義務はない。但し、2 アウト時はノーバウンドキャッチと同じ扱いとし、捕球するよりも早く走者がホームインした場合でも得点は認めない。

【遅刻チームへの対応】

※人数が 7 人未満の場合

- ・試合開始時間から 5 分以内に 7 人以上となり、試合規定人数を満たした場合：通常通り試合開始。
- ・試合開始時間から 5 分を超えた時点で 7 人で、試合開始最低人数を満たすが試合規定人数を満たさない場合⇒ペナルティを与えて試合開始。
（7 人で試合を始めた場合、当該チームはその試合を通して 7 人で戦わなければならない。ただし、遅れてきた選手も含め選手交代は可能。）
- ・試合開始時間から 5 分を超えた時点で 7 人未満で、試合開始最低人数を満たさない場合当該チームは不戦敗。

第49代スポーツ・デー学生委員会

ペナルティ

- ・試合開始後に出場人数を増やすことはできない。
- ・遅刻者がいる場合は、遅刻者がいない方のチームに先攻・後攻の選択権を与える。

当日の選手追加について

- ・当日の追加可能人数は4人までとする。
- ・同一種目内での複数のチームへの当日選手追加は不可とする。
- ・一度削除した選手の再追加は認めない。

【審判】

- ・男子ソフトボール部
- ・女子ソフトボール部

【注意事項】

- ・選手本人が登録されていないチームで参加することは禁止とする。
- ・不正出場があったチームは失格とする。
- ・会場内では、スポーツ・デー学生委員会の用意したボール以外の使用は禁止とする。
- ・当日に練習等でボールを使用したい場合は、試合直前のチームにのみ各会場の受付で貸し出しを行うが、会場内での使用に限る。
- ・会場外での練習は禁止とする。
- ・バット、グローブは貸し出しを行うが、グローブに関しては数に限りがあるため極力各自で用意すること。
- ・遅刻者は審判に申し出た上で、交代でのみ出場可。
- ・スパイクシューズの着用は禁止とする。
- ・会場内での食事、喫煙は禁止とする。
- ・審判の指示に従わなかった場合は何らかの措置をとることがある。